

## 第 4 回

# 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成27年10月23日

## 議事録

## 平成 27 年度 第 4 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 議事録

会議体の名称	第 4 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	平成 27 年 10 月 23 日 (木) 10:00~12:00	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	1. 開会 2. 議事 (1) パブリックコメントの結果について (2) 人口ビジョン及び総合戦略の策定について (3) 本年度の取組に関する意見交換 ・地方創生先行型事業の進捗状況について ・地方創生先行型(上乘せ交付分)事業の実施について 3. 閉会	
出席者	創生市民会議 構成員	1. 島田市自治会連合会 大石会長 2. 島田青年会議所 落合事務局長(代理出席) 3. お母さん業界新聞 静岡・島田版 杉本編集長 4. 島田市小中学校 P T A 連絡協議会 荒波会長(欠席) 5. NPO クロスメディア島田 大石理事長 6. 島田商工会議所 原田会頭 7. 島田市商工会 大塚会長 8. 島田市観光協会 鳴嶋会長 9. 島田市農業経営振興会 富永副会長 10. 静岡県立島田高等学校 青木校長 11. 島田市校長会 宮村久美子(代理出席) 12. 島田信用金庫 飯塚常務理事 13. 島田・榛北地区労働者福祉協議会 片山会長 14. 島田公共職業安定所 中村所長 15. 島田市 染谷市長(副市長、教育長)
	オブザーバー	静岡県中部地域政策局 落合次長(代理出席)
	司会	島田市市長戦略部 牛尾部長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 森下課長
	傍聴	報道 市関係者 一般傍聴者

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 4 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表</li> <li>● 第 4 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員</li> <li>● パブリック・コメント制度に基づく意見等募集に係る実施結果票(資料 1)</li> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造～」概要(資料 2)</li> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造～」(資料 3)</li> </ul>
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）」に係るパブリック・コメント実施後の修正事項について（資料4）</li> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略～未来創造～」概要（資料5）</li> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略～未来創造～」（資料6）</li> <li>● 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に係るパブリック・コメント実施後の修正事項について（資料7）</li> <li>● 地方先行型事業の進捗状況について（資料8）</li> <li>● 地方先行型（上乘せ交付分）事業の進捗状況について（資料9）</li> </ul>
--	--

## 【議事録】

### 1. 開会

#### ○司会 市長戦略部長（以下、司会）

本日はご多用のところ、ご出席を賜りありがとうございます。本日の司会を務める島田市市長戦略部長の牛尾と申します。よろしくお願いいたします。「第4回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催させていただきます。それでは、初めに染谷絹代島田市長から、ご挨拶を申し上げます。染谷市長よろしくお願いいたします。

#### ○市長

皆さまおはようございます。いつもお世話になっており、誠にありがとうございます。

本日は、第4回目のまち・ひと・しごと創生市民会議でございます。

既に4回ということで、この間様々なご意見を皆さまから伺ってまいりました。振り返りますと、8月7日に開催しました第3回の市民会議では、島田市の人口ビジョンの素案をお示しし、人口減少に歯止めをかけながら、2060年の人口を8万人とする目標を掲げさせていただきました。そして、総合戦略におきましては、4つの基本目標として、①「日本で、世界で、稼ぐ産業の創出」、②「島田市に住み、好きになる」、③「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんやかに子育てする」、④「水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり」を掲げ、それに関わる主な施策について説明をさせていただきました。また、意見交換の中では、「小中連携の教育の推進とあるが、幼児期から高校まで範囲を広げた方が良いのでは」といった意見や、「若者に島田市に戻ってきてもらうには、雇用の安定や充実が必須である」といった、産業支援の必要性等、たくさんの御意見を頂戴しました。

本日の会議では、8月26日から9月30日まで、市民の皆さんから広く意見を募集しました「パブリック・コメント」の結果について、報告させていただきます。そして、パブリック・コメントや前回会議でいただいた意見等を踏まえ、最終版の「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定いたしましたので、本日、提出させていただきます。今後は、この「人口ビジョン」及び「総合戦略」を基にして、いよいよ地方創生に向けた取組のスタートを切りたいと思っています。

また去る10月6日、島田市は、島田信用金庫様との間に「地方創生の推進に向けた協定」を締結しました。創業や販路拡大の支援などに連携して取り組むほか、その推進拠点となる「産業支援センター（仮称）」を設置していくことに合意し、地方創生に向けた取組の基盤を作ることができましたことを御報告させていただきます。この産業支援センターにつきましては、私が市長になるときの公約でもあり、ずっとずっと温めてきた構想ですので、灌漑もひとしおでございます。

本日は、限られた時間ではございますが、島田市の豊かな未来を切り拓いていくために、皆様から忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞお力添えを賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

す。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

- 司会 ありがとうございます。本日の会議の出席者につきましてはお手元の資料3枚目の名簿をご確認ください。  
それでは早速議事を進めさせていただきます。  
議事に先立ちまして、議長を染谷市長にお願いしたいと思います。

## 2. 議事

- 市長 それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。皆さまどうぞ宜しくお願いいたします。早速議事に入ります。  
まずはじめに、「(1) パブリックコメントの結果について」、事務局から説明をお願いします。

- 事務局 (資料1により、パブリックコメント結果について説明する。)  
意見の提出者については1名、件数については9件。  
反映状況の説明をする。

- 市長 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。皆様からのご意見ご要望、あるいはお気づきの点がございましたらご意見をいただきたいと思ひます。いかがですか。

- A構成員 お茶の関係が出てきましたので、少し申し上げたいと思ひます。  
農業全体が曲がり角にきていまして、20年前から農業者の所得は半分になっています。一番大事なのは生産基盤を長期的視野を持ってやり直さないといけないと思ひます。  
明治維新のとき、世界にお茶を輸出して外貨を稼いだように、まだ世界でお茶は伸びていますので、先進国にふさわしい規模で最新の合理的な茶畑に切り替えていかないといけないと思ひます。世界的なTPPにあわせた改革は不可能ではないかと思ひます。島田市はせっかく良いところがあるので、どこか場所を決めて、徹底的に合理的にやらないといけないと思ひます。  
今の農業従事者は、60歳～70歳代の方が多いので、10年～20年後、世代が変わったときに誰が何を作っていくのかを考えていかななくてはいけないと思ひます。

- 市長 ありがとうございます。これからの時代にあった農業の展開、次に農業を守っていく人材、そういったことにも目を向けていかななくてはいけないというお話をいただきました。他にご意見はございますか。

- B構成員 将来ビジョンということで、いまの若い人たちの労働環境や生活環境についてご意見が出ているようですけれども、市の回答としては将来を担う子どもたちの社会自立について書いてあります。まったくその通りで、労働環境や生活環境は、人間が作ったものですので、いろいろな感覚で内容が変わってくると思ひます。  
人間としての教育が子どもの頃からできれば、それも義務的に常にシステムを作っていければ、子どもたちが大人になったときに色々なことを考えるようになって、地域の活動に繋がっていくと思ひます。組織化して教育していったほうが良いと思ひます。

- 市長 その教育は、キャリア形成ということですね。

- B 構成員      そうです。年間に何回ではなく常に教育をする。今は切れ目のない支援という  
ことを言っていますけれども、長期的に必要なではないかと思ひます。
- 市長           キャリア形成を強化して推進したほうが良いのではないかというご意見を  
いただきました。学校関係ということで校長先生、ご意見はござひますか。
- C 構成員      国語や算数や社会の授業などでは、常にそういった視点でやっています。商  
店街が大好きで、特に、「こまんじゅうが好きだから調べてみたい。」と  
言ひて、自分で市内を回り、調べてまとめて発表している子がいました。  
地域の産業を体験して感じていくことを大切にしていきたいなと思ひます。
- B 構成員      行政でも民間でも良いですけれども、学校以外で動物や植物などの体験を通  
して、命の勉強や地域愛を勉強していくなど、色々な形でできればと思ひ  
ます。
- 市長           これらについて教育長なにかあればお願いします。
- 教育長        ありがとうございます。いまキャリア教育についてお話をいただきました。  
職業体験を取り入れていたりして、中学校はかなり充実していると思ひま  
す。一方、小学校は中学校に比べて弱い部分も感じますが、他よりもよく  
やっているとと思ひます。弱いのは子ども自身が自覚していない部分がある  
ことです。  
一つの例として、学級会活動、清掃活動は基本的に人のためにやっている  
こと、あるいは勤労意識を高めるもので立派なキャリア教育になっていま  
す。ただ、それを意識できていないのは課題になるかと思ひます。  
もう一方で大津小学校では地域の農家の人たちと連携して、稲作体験など  
をやっています。地域と連携しながら様々な活動をしています。  
また、市内の大勢の子どもたちがそういった体験に取り組んでいるという  
作文を書いてくれており、定着してきていると思ひます。今後ますます充  
実していかなくてはいけないと思ひております。
- 市長           ありがとうございます。島田の教育は、次なる世代の人材育成としてしっかりや  
っていきたくと思ひます。  
続きまして、「(2) 人口ビジョン・総合戦略の概要について」、事務局  
より説明をお願いします。
- 事務局        資料 2・3・4)により、島田市町・ひと・しごと創生人口ビジョンの概要  
について説明する。  
資料 5)により、島田市町・ひと・しごと創生総合戦略の概要について説明  
する。  
資料 6・7)により、修正箇所について説明する
- 市長           ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。  
皆様のご意見・ご質問をお願いします。
- D 構成員      資料 3 の高校生の進路についてです。  
就職について、島田市内の企業にどのくらい就職しているのかを調べてみ  
たいという思いがありました。それは高校生の就職について、もっと支援  
できるのではないかと思ひており、地元の子が地元に戻る仕組みをお手伝  
いできればと思ひます。

- 市長 事務局どうですか？島田の子がどのくらい島田に就職しているかわかりますか。
- 事務局 市内の高校に照会をさせていただきました。どこの市町への就職かという資料がなかったものですから、具体的にはお示しできません。
- E 構成員 静岡県内で、県外の大学に進学する率は約 74%です。静岡県内の学生は県内の大学に進学する率が高い。学生が地元に戻って就職するのが一番良いのですが、雇用の場がないので、学生が苦勞しているようです。島田工業や島田商業は就職する率が高くて、4～5割の生徒が就職しています。そのうちの9割の生徒はほとんど地元島田に就職しています。これは、地元比較的製造業を中心とした企業が多くある。そういったことで、高卒者が就職する場は比較的恵まれています。  
そして、島田高校の学生の約6割が島田市内の生徒、その次は藤枝市、次いで焼津市の生徒です。必ずしも島田市に就職するわけではなく、藤枝市に戻ったり、焼津市に戻ったりしています。  
そういったデータはちょっと集めづらいのですが、全体としてはそういった傾向があるとうご理解いただけたらと思います。
- 市長 ありがとうございます。だいぶ実態が見えてきたと思います。他にご意見はございませんか。
- F 構成員 バラバラのご意見をよくここまでまとめていただいたと思います。今後、問題は、短期・中長期に問題点を分けて、どう進んでいくか、どういったまとめ方をしていくかだと思います。
- 市長 短期・中長期の課題をまとめて、現実的に今後考えていくほうが良いとのご意見でした。これに関して事務局どうですか。
- 事務局 ご意見ありがとうございました。この、まち・ひと・しごと創生は行政だけではなく、皆さんが主役です。行政の範囲で出来ることをしていきますが、みんなで取り組んでいただきたいと思います。  
ご指摘の通り、これをどういったまとめ方をしていくかについては、本日お集まりいただいた皆様にはこれまで報告させていただいておりますが、引き続きこの施策がどんな形で進んでいくかについては、検証やご意見を賜りたいと思っております。今年度については年度末にお集まりいただきたいなと思っております。取り組みについてのご意見もいただければと思っております。様々な機会で会議があり、そこでの議論、会議の積み上げがここに繋がってきます。
- F 構成員 当会議構成員のメンバー選考ですが、若い世代をメンバーに入れていけたらいいと思います。
- 市長 私自身も、様々な審議会で 50 歳以下を 4 割程度と指示しております。若い人が多いと夢があり素晴らしい意見が出ます。また、若い人が自ら動くと言ってくさるといった大変ありがたい意見もです。これからも十分留意していきたいと思っております。
- G 構成員 高齢化については、これから間違いなく進みます。70 歳以上の高齢者をイキイキさせる施策も必要です。子どもの教育に関して、高齢者が関わることで、生きがいを感じています。高齢者施策にもっと力を入れてもらいたいと

思います。

- 市長                    ありがとうございます。高齢者の皆さんは、まだまだ現役で働けますし、商売や知恵や経験が若い人に伝わっていく社会にしていけないといけないと思います。他にはいかがですか。
- H構成員                本当に色々な施策があって、読んでみると絶対に発展していくと思うような、既存の資源がたくさんあると思います。ただ1点、島田市として何で食べていくのか、目玉が薄れているような気がします。昔でいえば大井川から生まれた色々な産業で島田が存在していたと思います。それでビジョンが出来るので良いのかなと思います。それと、個人的な意見としては、NPOをもっと活用して欲しいと思います。人口減少には色々な課題があると思いますけれど、NPO活動や地域の活動が力をつけていくことで、島田市の活性化に繋がっていくと思います。
- 市長                    ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。これからの時代は行政任せではいけないと思います。今回、総合戦略を策定するなかで、気付いたことは、島田市は昔から豊かで地域資源が整い過ぎていて、一点突破がなかなか見つからないということです。もしアイデアがありましたら是非お聞かせいただきたいと思います。他にはいかがでしょうか。
- I構成員                私もこの資料をみていて、島田市の未来を考えるこの場において本当にありがたいと思います。  
資料6の14にある、シティプロモーションについて、市民幸福度7点というのは、低いと思いました。これを10点にしていけないといけないという気持ちでやってもらいたいと思います。  
また、同窓会について具体的な話を聞いたことがあるんですが、戻ってくる方もいらっしゃるでしょうし、すごく良い内容だと思いました。  
次の17ページ、妊娠・出産の切れ目のない支援について、情報を提供できる体制について、どのように提供していくのでしょうか。  
今の妊婦さんは仕事をしていらっしゃるので、相談したくても相談するところがわからない方がいらっしゃいます。仕事をしている方向けに、定期的にリーフレットを配っても良いのではないのでしょうか。情報提供できる手段があったら良いと思いました。  
次に、子どもをまんなかに子育てすることについて、働いている人には学童がありますが、働いていない人たちの子どもにも、安全・安心な場所の拠点を確保して欲しいと思います。  
19ページ一番最後の、子育てしながら働くことについてです。以前、お話しさせていただきましたが、親自身が「お父さん、お母さんでよかった。」と  
思っていたきたい、ということをお願いしたかったです。先日、子育てを  
すると、社会的弱者のように感じたという声を聞きましたが、その環境は、大人自身が作っているということも意識しないといけないと思いました。
- 市長                    ご意見ありがとうございます。  
妊娠・出産の切れ目のない支援については、不妊に悩む人の相談にのるメンタルケアのサポートをしています。1対1でケアすることは出来るんですが、同じ悩みを持っている人たちを集めたことは出来ていないので、これからの課題だと認識してます。  
また、仕事をしている人たちへリーフレットを配るという意見はとても素晴らしいと思います。ただ、行政が作ってもだれも読んでもらえないものになってしまうと思います。色々乗り越えてきた方に妊娠した人の気持ちになって、サポートしていただける内容になっていないと無理かなとも思うので、

そこは検討させていただきたいと思います。

働いていない方の子どもを対象にした放課後子ども教室があります。放課後児童クラブは働いている方の子どもを預かる場所です。放課後児童クラブは月にいくらかですとか、おやつ代などをいただいているんですが、放課後子ども教室についてはどなたが来ていただいても構いません。全くのボランティアなので、そのような人がいるところでないといけないということもあります。

○J 構成員 30 年前のバブルの頃は、高卒を 150 人位採用していましたが、今は 1 桁です。働く環境も変わっていくということですが、基本的には衣食住の住のところ、どこに住むかということだと思います。定住促進、資金面にも取り組む必要があると思います。

2 つ目は教育資金です。短・中期的な視野でこの街に住んでいただく施策については是非遂行して積極的に支援させていただきたいと思います。

○市長 働く仲間との定住促進や教育資金等、新たな誘致だけではなくて、中にいる人たちへの積極的な支援が欲しいということですね。他にはいかがでしょうか。

○K 構成員 心配な点は、TPP は雇用に影響してくるのではないかと考えています。資料 3 の 53 ページと新聞をみると、働き方改革を入れていただいたのはありがたいのですが、この地域の雇用吸収力がガラッと変わったときに、今まで吸収できていた分野が崩れてしまうと、雇用の確保ができないと思いますので、その点を注視していく必要があります。

また、障がい者の方々についても色々な場面で大変な思いをしていることがあると思いますので、計画全体にかかっていると良いのかなとも思います。

○市長 ありがとうございます。この計画を作ってからずっと押し切っていくものではございませんので、毎年見直しをかけていきたいと考えております。事務局からはありますか。よろしいですか。

続いては「(3) 本年度の取組に関する意見交換」とさせていただきたいと思います。事務局から、説明をお願いします。

○事務局 資料 8・9 について説明する

○市長 ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。ここからは意見交換とさせていただきます。皆様のご意見・ご質問をお願いいたします。

○D 構成員 今回、新たに取り組んでいただく市内企業求人情報等発信事業については、活きたお金を使っていると思います。実は市内の中小企業なんですけど、今年は大学生の就職割合が良いということなので、募集をかけてみたがなかなか来てくれないという悩みもあるようです。このような取り組みをしていただくと来ていただけたらと思います。

○市長 市の HP のリンクだとか、ハローワークさんをお願いしてとか、色んなところにリンクを貼って、必要な人に必要な情報が届くようにしていきたいです。みなさんの方でも宣伝していただければと思います。

また、Wi-Fi についてですが、補助制度がありますが、まだ、利用されていません。たくさんのお客様に島田市に来ていただくためにも、その準備の一つとして、「ようこそ島田へ WELCOME 事業」を PR し、Wi-Fi 環境の整備を浸透していきたいです。是非多くの皆様に使っていただければあ

りがたいです。

- G 構成員      プレミアム金券が大変好調で、9月末で交換率が81.7%、おそらく11月末までに100%になると思います。島田市の小売店が潤ったのか、一か所に集中したまとめた使い方になってしまったのか、是非結果をフォローしていただきたいと思います。  
色々な施策についても、結果をしっかりと伝えていくことが大事だと思います。
- 事務局      発行額が5億6800万円のうち、現在5億円近い金額が換金されています。  
どこか一人勝ちということではなく、1位で12%、2位で10%、次いで8%、6%となっています。業態で申し上げますと、スーパーマーケット、家電、ドラッグストア、こうした業態が上位となっています。  
プレミアム金券は景気浮揚が目的ですので、夕飯でもう一皿つけ足そうとか、何か買おうと思っていたのだけれど、もう1つ上のグレードを買おうとか、そういった消費行動に移っていただくことが期待されていたところ  
です。この結果につきましては、このあとアンケート調査を行い、確認してまいります。
- 市長      一番多いところで12%ということでしたので、一人勝ちではございません。  
それぞれの地域で使っていただけたと思っております。他にはいかがでしょうか。
- C 構成員      資料6の19ページをみますと、働きながら子育てすることから、子育てしながら働くようになったことが、ものすごく良いなと思いました。いま小学校では子どもの暴力化が増えています。子どもたちが感情をコントロールできないのは、親子間のコミュニケーション不足などが引き起こしています。子どもを育てるときが大切だと思います。お母さんたちは時間的にも精神的にも安心して安定して子どもを育てることが大切です。子どもは愛されている感覚を育てなくてはいけないと考えたとき、島田市は子どもを大切にすよ、お父さん・お母さんを応援していくよというPRをしていく島田市はとても安心です。子どもをまんなかに子育てするという、島田市の空気はとても良いと思います。
- 市長      子育てしながら仕事する島田市なんだ、ということをもっとPRしていこうという、大変素晴らしいご意見をいただきました。
- A 構成員      企業の立場からいうと、お子さんのために働けないというのは結構多いです。男性も一緒に休んで一緒に子育てすると、ますます支障が出てきます。これを解決していきたいという気持ちはあるので、企業に保育所ができないかと考えるけれどお金がかかる。自分たちでやろうとすると責任の問題になる。近いうちに自分たちで手掛けないといけないという感覚は持っています。もう少しグループを作りながらできないかとか、空き家を利用すれば安くできるのではないかとも思います。やり方や法的問題などに対処できるように、相談出来る場所があればと思います。
- 市長      企業内保育についてお話していただきました。私も実は色々な企業を見せていただいたとき、ある企業は保育士を雇わないで、雇っているお母さんたちにみてもらっている、お母さんたち同士が順番にみていて、それを就業と同じようにカウントしてお給料を出しますとしてうまく回している企業がありました。ローテーションから一人だけ外して、子どもたちに時間を使っていて、色んな工夫をされているなと思いました。子育てしながら働く立場と、企業として人を雇う立場と色々あると思います。今のお話を聞いてヒントに

なると思ったのは、今まで企業内子育て環境アップ事業は、商工会を通して企業に一所懸命売り込んでいたのですが、もしかしたらそうではなくて、妊娠しているお母さんたちに売り込むべきだったのではないかと気づきました。お母さんに「1週間休んで子どもをみて」、「制度を使えば、市からも3万5千円もらえるみたいだし、会社にも3万5千円いくみたいだよ」と言ってもらえるのが、制度を使ってもらうことにつながるのかなと思いました。子どもを産もうしている人の論理と、働く企業の論理と、論理が違います。その企業の論理にだけ売り込んでいたからゼロだったのかもしれないと、ちょっと工夫が必要かと思いました。

- B 構成員 沖縄県をみると、規模は違いますが人口が増えている現状です。理屈抜きで環境が良いとか住みやすいとか、子育てについても産んだあとの環境が良い、定年後の住みやすい環境などがあり、要因は支援などではなく「環境が良い」ことで選んでいるようです。成功例のアンケートもあれば、強みがあるので参考にできると思います。
- I 構成員 わたしもテレビで、事業所が会社の中で子連れ出勤したお母さんたちの子どもをみんなで保育しようというところを見ました。そうは言っても、電話をしているときに子どもが騒ぐのは良くないので、別室が用意されていて、そこで仕事をする、フロア全体に子どもが出ないように柵がしてあるんですが、環境を整えることで、お母さんがこの会社に貢献しようとかそういう意欲が高まっていました。その会社の社長さんがインタビューに答えていたんですが、お母さんたちは人材の宝庫で色んなことをやってきた人たちがいっぱいいます。子どもがいることでブランクを空けるよりも、子どもがいても働ける環境を整えて働かせてもらっている、頑張ろうということで、意識が上がって仕事量が増えたと言っていました。これからの時代に合っている話だと思いました。
- 市長 今日まだお話いただけていない方、いかがでしょうか。
- L 構成員 市に対する関心があまり深くない市民も多くいらっしゃると思うのですが、そういう方たちも新しい興味を持てるようなことをすれば活性化するのではないかと思います。今日の話聞かせていただきました。
- M 構成員 農業をやっている僕らの世代は、何をやっていくかが悩ましくて、農協に聞くとあれが良い、これが良いと情報はすぐあるんですが、どうしていいかと悩ましいです。行政と農協がもう少し連携してもらって、提言してほしい。ある程度行政主導のものも必要なのではないかと思います。この地区を何かのモデルにしましょうとか、ある程度ソフト的な支援が欲しいです。補助金ばかりもらっても使えないんです。使い方も、機械を買ったりすることしかできない。今後の方向性について、教えてもらえる行政や農協であって欲しいと思います。
- 市長 JAさんと行政は、色んな意味で連携を取りながら動き始めています。この地域は、この作物が合っていると、モデル地区として出せば良いんですが、大井川に合った作物がまさにお茶だったんだと実感しております。代わる作物と言われると本当に難しいのが現実でして、そういったことも含めてしっかり分析し、取り組んでいきたいと思います。
- オブザーバー 昨日・一昨日と、ツアーセンター研究会で和歌山へ視察に行ってきました。日高川町は3つの自治体が合併した町で、人口1万人弱。何もない小さな田

舎町ですが、毎年Iターンで10~20人が入ってきているそうです。民泊の部会長のお宅に泊めていただきましたが、自分たちが好きな町にホスピタリティのあるおもてなしをする。民泊は17軒で50人しか受けられないので、教育旅行等で大勢を受け入れるときには近隣の市町で協力しているそうです。身の丈に合ったことをやっていて、身の丈に合わなければ、近隣で連携が取れているのが実感できました。

○市長

身の丈にあったことをするという。まず、自分たちの住んでいる地域を好きになって、そこを誇りに思うこと。ホスピタリティを持って、来てくださった方にうまく伝えていくことが、地方創生への第一歩だと私自身も感じております。

今日も色々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。地方創生の取組が本格的にスタートしていきます。地方創生を実行力のあるものにしていくためには、市民の皆様と市が連携して取り組むことが必要だと思っております。どうぞ引き続き、皆さまのお力添えをいただきますようお願い申し上げます。それでは、進行を事務局にお返しします。

3.

閉会

○司会

以上をもちまして、本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。それでは次回会議について、事務局からご案内をさせていただきます。

○事務局

今回は、年度末3月くらいにお集まりいただきたいと思っております。内容につきましては、本日ご説明申し上げた資料の検証等をお願いしたいと思います。また、新年度に向けての具体的な事業についてもご説明する予定でございます。

○司会

本日はご多用の中ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして閉会いたします。

以上